

# 「『電気の廃棄物』問題を考えるキャンペーン」の実施について

2009年9月30日

原子力発電環境整備機構

当機構では、原子力発電に伴って発生する高レベル放射性廃棄物等(「電気の廃棄物」)の地層処分について、下記のとおりキャンペーンを実施します。

今回のキャンペーンでは、私たちの生活に大変身近な「電気の廃棄物」問題に関して、情報を広く発信し、ご意見を募ります。また、いただいたご意見を集約して公開することで、ひとりでも多くの皆さまに「電気の廃棄物」問題について考えていただきたいと考えております。

当機構では、こうした活動を通じて、地層処分に対する理解を深めていただきながら、着実に事業を進めてまいります。

## 記

### 1 スローガン

あなたはどのように考えますか? 「電気の廃棄物」問題

### 2 期間

2009年10月17日(土)～11月1日(日)を中心に諸活動を展開

### 3 メッセージ

[7つの現実]

- 私たちの家庭を支える電気の約3割は、いまや原子力発電によること。
- 家庭から「ゴミ」が出るように、原子力発電からも「廃棄物」が出ること。
- 日本が原子力発電を使い始めて約40年の歳月が経過したこと。
- 今、この瞬間も、「放射性廃棄物」は増えつづけていること。
- 家庭の「ゴミ」には、処分場があるが、「電気の廃棄物」には、まだ処分場がないこと。
- フィンランドとスウェーデンは、すでに処分場を決めていること。
- NUMOは、今考えうる最も安全な方法である「地層処分」で、解決に取り組んでいること。

原子力発電は、使い終えた燃料の約95%がリサイクル可能です。このリサイクルの過程で高レベル放射性廃棄物等が発生します。これらの「電気の廃棄物」は長期にわたり生活環境から隔離する必要があり、地下300mより深い安定した岩盤に安全・確実に処分します。

## 4 主なキャンペーン内容

新聞広告 / TVCM / ポスターの掲出

NUMOホームページ特設サイトの開設 <http://denkinohaikibutsu.jp>

番組提供

・10月18日(日)22:00～23:15

フジテレビ系列「仮想生活実験ドキュメント もしも」

青森・山梨・大分・宮崎地区では放送日時が異なります



・10月25日(日)17:00～17:55

B5フジ「野口健と考える 次世代のために、いま、取り組むべきこと」(仮)

シンポジウム 10月24日(土) 各界著名人、一般参加者によるシンポジウムを実施

(詳細は別紙をご覧ください)

以上

- 別紙 1 : 『『電気の廃棄物』問題を考えるキャンペーン』
- 別紙 2 : シンポジウム; 『電気の廃棄物』問題を考える